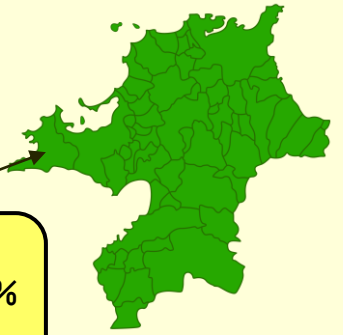


社会福祉法人 糸島市社会福祉協議会

〒819-1105 糸島市潤1-22-1 健康福祉センター あごら内
TEL 092-324-1660 / FAX 092-324-3166

糸島市のデータ【平成24年1月1日現在】

人口 100,808人 世帯数 36,401世帯 高齢化率 21.4%
自治会数 162 民生児童委員数 156人 福祉委員等 143人



合併後の地域活動推進のための基盤整備

●指定事業実施の背景

平成22年1月に、旧前原市、旧二丈町、旧志摩町の1市2町が合併し、糸島市が誕生した。

小地域福祉活動の推進は、合併後も最も重要な社協活動の柱であるが、活動内容や推進方法には、地域間で違いがあった。そこで新市のすべての地域において住民参加による福祉活動の組織化を図り、各地域の福祉ニーズに対応した小地域福祉活動の推進組織や推進態勢の整備を図る必要があった。

●2年間の軌跡 活動の概要

地域福祉推進委員会を開催し、校区社協の設置推進に関することや福祉委員の設置推進に関すること、地域福祉の現状把握と課題整理に関することについて審議を行った。

発足した校区社協においては会長・事務局長による会議を開催し、校区間の情報交換や課題の共有、課題解決のための協議を行った。また、福祉委員についても、福祉委員の役割などについて共通認識を図るため、委嘱された全福祉委員を対象に全体研修会を開催した。

さらに、糸島市における地域福祉の現状把握と課題整理として、社協が福祉団体等の活動状況や要望の現状の把握、市が行政区・校区関連団体・市民モニターを活用したアンケート及び聞き取り調査を実施し、課題整理を行った。

●事業効果

市内15校区のうち、14校区で校区社協が立ち上がり、ひとり暮らし高齢者の見守り活動の一環としてふれあい弁当の配布やひとり暮らし高齢者のつどいの開催など、校区社協を中心としたネットワーク活動が取り込まれるようになった。校区単位で街づくりを推進している行政と連携し、新市の長期総合計画にも校区社協の設置推進が位置づけられている。

また、福祉委員については、平成24年1月現在で、前原地区で89名、二丈地区で10名、志摩地区で44名の福祉委員が委嘱された。

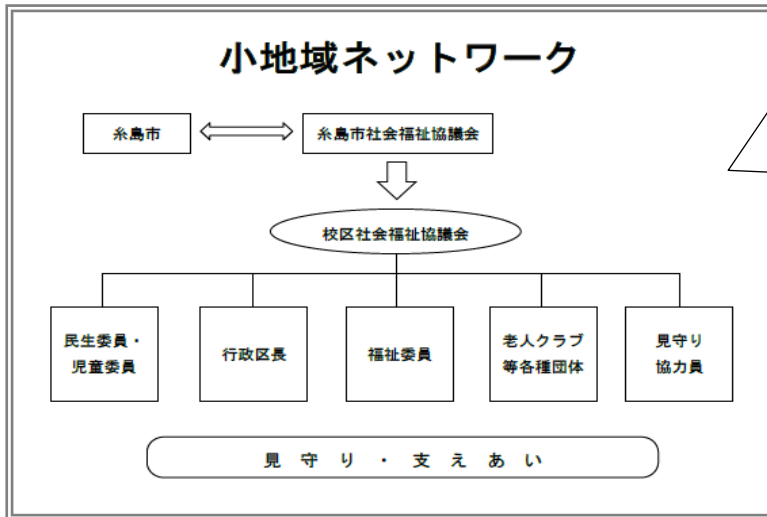
担当者の声

糸島市は平成22年1月に1市2町が合併し、人口10万人の市として誕生しました。それぞれの市町で推進してきた地域福祉についても合併を機に、二丈地区、志摩地区では校区社会福祉協議会の組織化、福祉委員の設置、また全市において災害時の要援護者台帳の整備、自主防災組織等の施策が図られ、新たな地域福祉が展開され始めています。

2年間という短い期間で組織された校区社協、福祉委員などが有効に協働していくために、地域福祉計画及び地域福祉活動計画の策定を視野に入れ、今後の社協活動を進めていきたいと思っております。

糸島市社会福祉協議会 野中 保雄 氏

活動のあしあと



糸島市社協では、小地域福祉活動の推進組織の態勢整備に努め、行政や地域住民、各関係団体と連携し、校区を単位とした見守り・支えあい活動など、各地域の福祉ニーズに対応した地域福祉活動を推進している。



校区社協設立総会の様子



心のこもったふれあい弁当の配布



福祉委員研修会の様子



校区社協会長事務局長会議



ひとり暮らし高齢者のつどいの開催

今後の取り組みと目標

市社協では、地域活動・生涯学習活動の拠点として市立公民館が整備されている小学校区を単位に、住民が主体となり、地域の特性を生かした活動を進める組織として、校区社協の設置推進を図っています。その活動をとおして住民自らが地域の福祉課題を認識し、その解決に向けて共に考え支えあう潤いのある福祉コミュニティづくりをめざします。

地域における福祉活動を継続充実していくため、地域にかかわり、必要な連絡調整を行う人材の育成など地域活動支援の態勢づくりとその財源の確保がこれからの課題です。

市民の皆さんの期待に応えられるよう社協の組織基盤の整備に取り組んでいきます。